

(参考) 社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備) 事後評価書(中間評価書)

平成 28年 4月27日

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
所管の上下水道部上下水道課内会議において評価を実施。	平成28年4月26日
公表の方法	H.P. で公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A2 港湾事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27			
小計(港湾事業)																		
合計																		

B 関連社会資本整備事業									合計					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				
										H23	H24	H25	H26	H27
合計														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道の普及増加に伴い、水洗化率の向上が図れた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 人口普及率）	最終目標値	19%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	19%	
	指標②（汚泥脱 水器設置）	最終目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	50%	
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・水洗化の定着が進み、市民生活の生活環境が改善されました。			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・汚泥処理量が増加した場合、汚泥脱水機を1基追加する。